

皮膚科

Department of Dermatology

皮膚科長
宮地 良樹



とっておきの 皮膚科診療をめざして

多くの専門外来によって幅広い皮膚疾患に対応し、デイ・サージャリーによる日帰り手術や、皮膚がんに対する集学的治療とセンチネルリンパ節生検などによる低侵襲性治療も行っている。

代表的診療対象疾患

皮膚良性悪性腫瘍、皮膚リンパ腫、悪性黒色腫、アトピー性皮膚炎、乾癬、接触皮膚炎、光線過敏症、脱毛症、皮膚潰瘍・褥瘡、静脈瘤、自己免疫水疱症、膠原病、白斑、皮膚結合組織疾患、白癬、皮膚細菌、ウイルス感染症、薬疹

診療体制と治療実績

外来診療体制と実績

2012年度は1日平均138人の外来患者が受診した。皮膚科外来では、一般診療の他に、専門外来としてアトピー性皮膚炎外来、光線過敏症外来、乾癬外来、接触皮膚炎外来、脱毛症外来、皮膚外科外来、褥瘡外来、静脈瘤外来、水疱症外来、膠原病外来、真菌症外来、皮膚潰瘍外来、蕁麻疹外来、皮膚リンパ腫外来、皮膚結合組織疾患、皮膚そう痒症外来、ざ瘡外来、角化症／母斑症外来、皮膚神経外来がある。良性腫瘍に対する小手術は外来処置室で行っている。

デイ・サージャリー部門では、毎週火曜日、木曜日、金曜日の午後に主にセンチネルリンパ節生検や皮弁作成および植皮術を、入院症例は毎週月曜日に全身麻酔手術を行っている。2012年度の手術室を利用した手術件数は242件(全身麻酔90件、局所麻酔152件)であった。

入院診療体制と実績

21床の病床を有し、年間新規患者数535人の入院患者を診療した。



臨床研究の取り組み

ステロイド治療抵抗性の類天疱瘡に対するIVIg療法の臨床試験。